「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第51回　京都代協

近畿ブロックとともに全国を引率する代協として今後も努力

まず初めに、令和六年能登半島地震により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げますとともに早期の復興をお祈りいたします。

それでは、京都代協のご紹介をさせていただきます。京都は縦に長い府県で、海に面した北部支部と中央の中北、西、東、南、洛南と六支部に分かれて活動をしております。支部ごとに総会を開催し、毎年セミナー・情報交換会などを納涼会・忘年会と同時に行って会員相互のつながりを大事にしています。一般の会員様が積極的に代協活動に参加する支部活動が盛んな代協です。

定期的に開催される支部役員会では理事会で話し合われた内容を連絡し、支部長は役員会で出た問題点などを理事会で報告します。また、理事をはじめ支部の役員は二年前からLINEWORKSを活用して情報共有をしています。保険知識の交換や、支部別、委員会別にグループを作ってコロナ禍でも情報共有できるようになりました。今後は会員全体に広げたいと思っております。

毎年、消費者生活センターとの懇談会を行っています。また京都市内の地下鉄烏丸線、東西線には信頼できる損害保険トータルプランナーの資格をもった募集人が一目で分かるポスター掲示を継続しています。ホームページのリニューアルもいたしました。昨年行われた60周年記念事業でも多くの皆様に参加いただきリニューアルをアピールできたと実感しています。

令和三年秋には災害時、「保険の不安を解消していただくために代協ができることは何か」という思いから、京都市と「損害保険に関する防災連携協定」を締結、さらに京都府とも協定を結んでおります。その流れで60周年記念式典では副知事や市長にもお越しいただき災害時に使っていただける「ダンボールベッド」をそれぞれに寄付させていただきました。今年度も京都市が開催する防災訓練でブースを作って多くの方に地震保険の大切さをアピールすることができました。昨年度は京都市長や知事にも参加していただき一体となって、街頭でのティッシュ配りを行いました。他にも大学生のボランティアと一緒に大学内のバイクの自賠責保険加入のチェックや、保険会社と連携した献血キャンペーンを毎年二回開催しております。一般社団法人になったところから続いている京都マラソンボランティアは今年も60人近い人数で極寒の2月18日に活動しました。

今後の課題はもっと会員様が家族ぐるみで参加できるような楽しい企画ができないか？　代協にもっと興味を持っていただくためにはどうしたらよいか？　ということです。京都代協は全国でも、組織率が高いということをご存じの方も多いかと思います。

京都代協は近畿ブロックとともに全国を引率する代協として今後も努力していきます。

西支部情報交換のようす

京都マラソンボランティア